

2006年6月27日

報道関係各位

東京急行電鉄株式会社

世田谷線松陰神社前駅における、停車中列車の誤開扉事故について

本日（27日）未明、弊社世田谷線において下記の事故が発生いたしました。お客さまならびに関係各位にはご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。

記

事故内容	駅停車中にホームと反対側の客室扉を開扉しました。
発生日時	2006年6月27日（火）0時26分頃
発生場所	世田谷線 松陰神社前駅（上りホーム） 所在地：世田谷区若林4 - 21 - 16 世田谷線は軌道線です。
発生列車 状 況	世田谷線 下高井戸0時14分発・三軒茶屋行（上り） 2両編成 （1）上記列車の運転士が松陰神社前駅でお客さまの乗降終了を確認後、ドアを閉めて発車しようとしたところ、ホーム側で列車を叩く音がしたため、直ちにブレーキをかけ、列車は約15cm動いて停止した。 （2）降車したお客さまが車体側面を叩いた様子であったため、状況確認のためホーム側のドアを開けようとしたが、誤ってホームと反対側のドアの開扉ボタンを操作してしまった。運転士はすぐに誤開扉に気付き、誤開扉したドアを閉めた。ホームと反対側の3つのドア（ドアは片側に全部で4つ）は約1～2秒の間、完全に開いていた。 （3）あらためてホーム側のドアを開けた上で、運転士が点検を行い、お客さまが転落していないこと、けが人がいないこと、および叩かれた側の車体側面に異常がないことを確認した後、ドアを閉めて発車した。
運転への影響	約2分の遅れが発生
発生事由	運転士の不注意によるドア開閉装置の誤操作
負 傷 者	発生当時、15名程度のお客さまがご乗車されていましたが、転落された方や、けがをされた方はありません。
対 策	ホームと反対側のドアが開かないシステムの導入について、早急に検討し、実施してまいります。また、従業員に対して正則作業を徹底するとともに、管理職による安全巡視を強化いたします。

以 上